



令和2年台風第10号に係る 鳥取県災害警戒本部会議

【日 時】令和2年9月5日(土)午後3時～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

**【参加者】知事、副知事、統轄監、危機管理局、地域づくり推進部、
農林水産部、県土整備部、教育委員会、
鳥取地方気象台**

*** 副知事、統轄監は緊急事態対処センター（県庁第2庁舎
2階）において出席**

*** 各総合事務所、市町村、消防局には映像配信**

目的・次第

目的

- ◆令和2年台風第10号に関する情報の共有、市町村・県民への注意喚起及び警戒・即応体制の確保を図る。

次第

- ◆知事挨拶
 - 1 最新の気象状況及び今後の予測等（鳥取気象台資料）
 - 2 市町村・県民への注意喚起等
 - （1）市町村への依頼事項
 - （2）県民への注意喚起等
 - 3 警戒・即応体制の確保等
 - （1）県の体制
 - （2）各部局等の対応

1 最新の気象状況及び今後の予測等

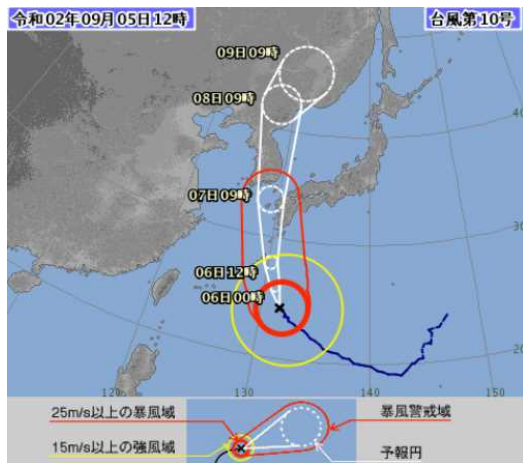
今後の進路予測

➤ 今日《9/5(土)》～明日《9/6(日)》

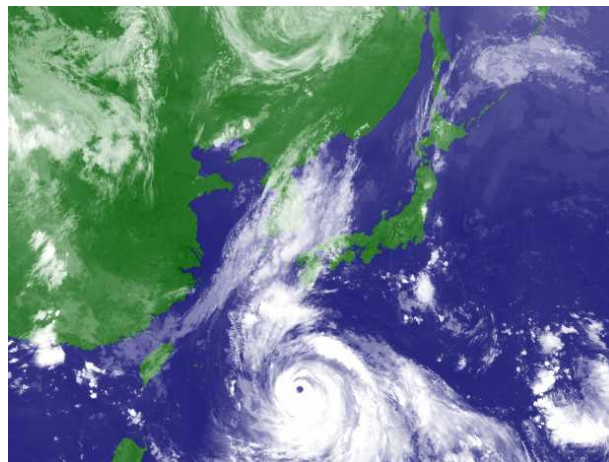
- ・大型非常に強い台風第10号は、5日12時には南大東島の南約180キロメートルにあって、中心気圧は920ヘクトパスカル。中心付近の最大風速は50メートル、最大瞬間風速は70メートル。1時間におよそ15キロの速さで北西進。
- ・今後は更に勢力を強め、6日の12時には猛烈な強さとなって奄美大島の南東約90キロメートル、中心気圧は915ヘクトパスカルに発達、中心付近の最大風速は55メートル、最大瞬間風速は80メートル。1時間におよそ20キロの速さで北北西に進む見込み。

➤ 明後日9/7(月)

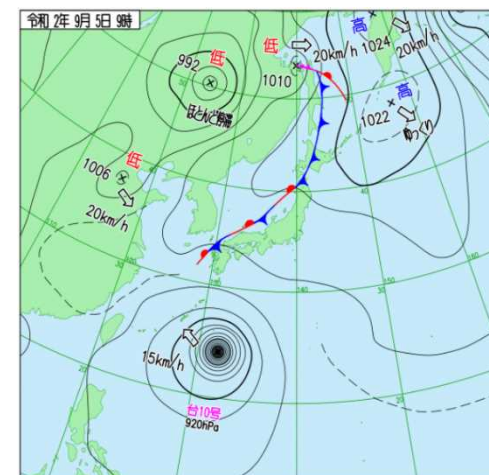
- ・7日09時には非常に強い勢力で対馬市の南南西約90キロメートルに北上。中心気圧は940ヘクトパスカル。中心付近の最大風速は45メートル、最大瞬間風速は65メートル。1時間におよそ30キロの速さで北に進む見込み。



台風進路予想 (5日12時)



気象衛星画像 (5日12時)



地上天気図 (5日9時)

これらの情報は、気象庁ホームページからご覧いただけます。

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/periodstat/20200703a/20200706/24/index_pre.html

最接近時刻と暴風域に入る確率

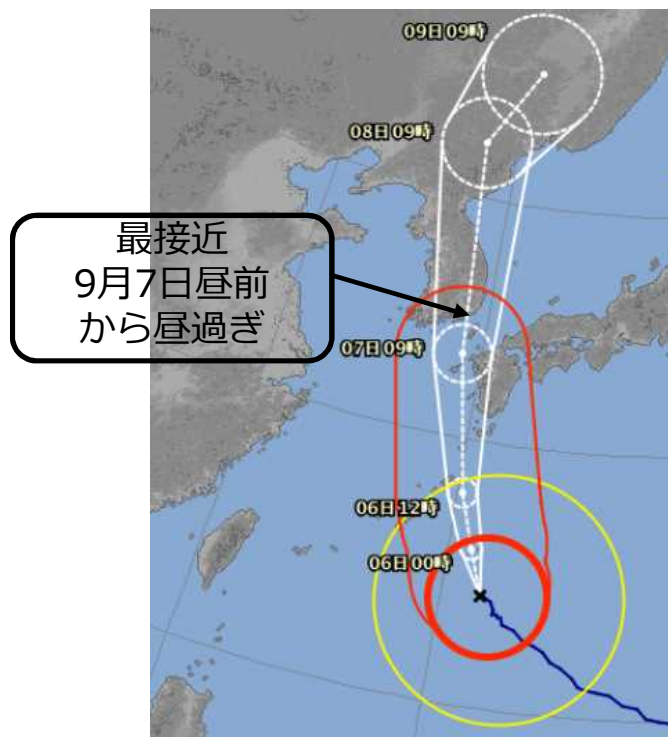
➤ 最接近時刻

(台風が予報円の中心を通過した場合)

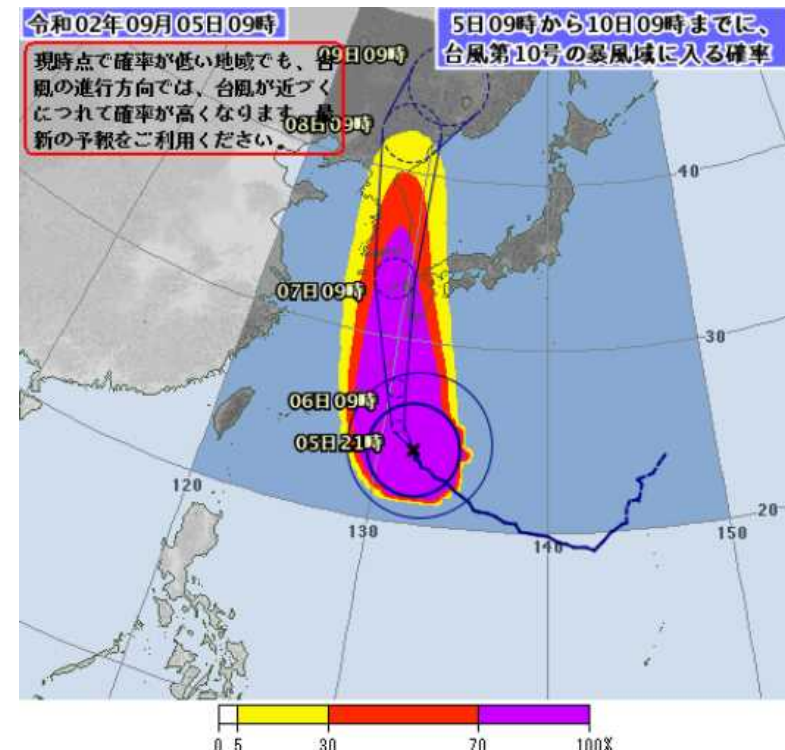
- 9月5日12時現在の予測資料では、東部、中・西部共に9月7日昼前から昼過ぎに最接近する見込み。

(台風が予報円の東側を通過した場合)

- 9月5日12時現在の予測資料では、東部、中・西部共に9月7日昼前から昼過ぎに最接近する見込み。



台風進路予想 (5日12時)



暴風域に入る確率(120時間予想) 9月5日09時現在⁴

今後の気象状況

		5日	6日				7日				8日
		18-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時
台風最接近							昼前～昼過ぎ				
大雨	東部										
	中・西部										
暴風 (メートル)	東部	陸上					陸上・海上とも				
		海上					15～19 (25～35)メートル				
	中・西部	陸上					陸上・海上とも				
		海上					15～19 (25～35)メートル				
波浪 (メートル)	東部										
	中・西部							最大 3メートル			
雷	鳥取県										
高潮 (メートル)	東部						満潮時を中心に				
	中・西部						標高1.0メートル				

警報級 注意報級

- 24時間降水量 (5日12時～6日12時)
東部 50ミリ
中・西部 50ミリ
- 24時間降水量 (6日12時～7日12時)
東部 50～100ミリ
中・西部 50～100ミリ
- 24時間降水量 (7日12時～8日12時)
東部 50～100ミリ
中・西部 50～100ミリ

防災上の警戒・注意事項

➤ 風について

(東部、中・西部)

- ・ 9月7日、陸上・海上とも南東のち南の風。
最大風速15～19メートル 最大瞬間風速25～35メートル。

➤ 波について

- ・ 9月7日の後半から8日にかけて3メートル。
うねりを伴って波の高い状態となる見込み。

➤ 雨について

- ・ 24時間降水量 (5日12時～6日12時)
(東部、中・西部) : 50ミリ。
- ・ 24時間降水量 (6日12時～7日12時)
(東部、中・西部) : 50～100ミリ。
- ・ 24時間降水量 (7日12時～8日12時)
(東部、中・西部) : 50～100ミリ。

➤ 高潮について

- ・ 台風第10号は台風第9号と同じようなコースを進む可能性が高いため、
台風が北上したあと9月7日から8日は注意報級。

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- **「警戒レベル4」**で、**危険な場所から避難**すること
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

避難情報の発信については、従来どおり、次の点にも留意してください。

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断

※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その2)

<浸水リスクが高い地域の対策>

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- ・詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

<避難情報の判断にあたっての情報収集>

必要に応じて県関係課へ助言を求めてください。

<初動体制の速やかな確立>

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

<迅速な避難体制の確立>

避難勧告等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用等

<避難行動要支援者等の支援対策の強化>

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

<被害規模の早期把握と迅速な報告>

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その3)

○避難所における新型コロナウイルス等感染症への対応について

<可能な限り多くの避難所を開設>

通常 of 自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

<避難者の健康状態の確認>

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

<頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底>

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

<避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保>

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

※ホテル・旅館等の民間施設借上げ、避難所の設置、維持及び管理に要する費用については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能。

<在宅避難者の把握に努めること>

2 市町村・県民への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その1)

- 市町村は防災行政無線等、県はホームページ（特設ページを開設しリンクをトップページに表示）やトリピーメール、トリピーなび、Yahoo防災速報等を活用して県民の皆さまに警戒するよう注意喚起を強化するとともに、ホームページで公共交通機関の運行情報等を随時更新します。（広域的交通機関である新幹線、高速バス等を含む。）
- 過去最強クラスの台風です。進路が東寄りに変わって本県も暴風域に入る可能性はあります。台風が接近する前の今のうちから、できる備えを進めてください。最新の気象情報を確認するとともに、ハザードマップで危険な場所の確認や、避難先を決めておく、非常用持ち出し品の点検、風で飛ばされやすいものの対策をとってください。身の危険を感じたり、市町村から避難勧告等が発令された場合は、あわてず速やかに危険な場所から避難してください。

ホームページ「とりネット」



The screenshot shows the 'tori-net' website interface. At the top, there are navigation tabs: 'テーマでさがす', '県の紹介', 'お知らせ', 'ネットで手続き', and '県政'. Below this is a '知事のページ' (Governor's Page) with a photo of the governor and a '記者会見、日誌、プロフィール..' (Press Conference, Diary, Profile..) link. The main content area is titled '災害情報 (Disaster information)' and features two bullet points: '台風第19号に関する情報 (Information of the typhoon No.19 "Hagibis")' and '道路・公共交通機関への影響 (Impact on roads and public transportation)'. Below these are tabs for '注目・新着情報', '報道提供資料', and '防災・救急'. A '注目情報' (Spotlight Information) section lists several news items, including '衆議院議員選挙に行きましょう (10月22日)', '鳥取砂丘「ポケモン GO」イベントの実施について', '仮に、弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について', and '第11回全国和牛能力共進会で鳥取県が快挙！'.

「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に
気象情報や防災情報等
を配信



アプリ「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ

○iPhone用QRコード

○Android用QRコード



2 市町村・県民への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その2)

○避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について

新型コロナウイルス感染者が引き続き発生していることから、避難所で感染症にかからない・うつさないため、次のことに注意してください。

<避難する前に・・・>

- (1) ご自身の体調を確認しましょう。避難する途中で体調がすぐれなくなった場合には、避難所の受付で相談しましょう。
- (2) 安全が確保できる場合は、自宅での待機や、近隣の親せきや知人宅への避難（分散避難）も選択肢の一つです。お住いの地域が危険かどうかハザードマップもしっかり確認して、自分の避難先を決めましょう。
- (3) 可能なかぎり、マスク・体温計・消毒液を持参しましょう。

<避難した後は・・・>

- (1) 避難所で生活するときは、必要に応じてマスクの着用、手洗い、咳エチケットなどをしっかり行ってください。
- (2) ほかの避難者と十分な距離をとるようにしましょう。（概ね2 m）
- (3) 十分な換気を行うよう心がけましょう。
- (4) 避難生活をする中で、発熱や咳などの症状がある場合には、すぐに避難所の担当者へ報告してください。

3 警戒・即応体制の確保

(1) 県の体制

- ◎ **台風10号がかってない強力な台風であることを踏まえ、災害警戒本部を立ち上げる。危機管理局では、明日から職員を増員して情報収集・即応体制を強化し、24時間対応を行う。**

台風は、急に状況が変化し、迅速な対応を取る必要があることから、暴風域が本県を通過する場合は1ランクアップで対応。

<1ランクアップの体制>

◆注意体制

本県が強風域に入った場合等、必要に応じて注意体制に移行する。

* 本注意体制の具体的な対応については各部局等の計画による。

◆警戒体制（1）

大雨注意報、暴風警報等が発表された場合等に、警戒体制（1）に移行する。

◆警戒体制（2）〔鳥取県災害警戒本部〕

大雨警報等が発表された場合等に鳥取県災害警戒本部（警戒体制（2））を設置する。

◆非常体制（1）、（2）〔鳥取県災害対策本部〕

被害甚大な場合、特別警報が発表された場合等に移行する。

* 非常体制（1）でも、事務局応援職員を招集する場合あり

◆体制解除

各市町村の警報等が解除され、特段の被害等が確認されない場合は、体制を解除する。

3 警戒・即応体制の確保 (2) 各部局等の対応 公共土木施設の対応

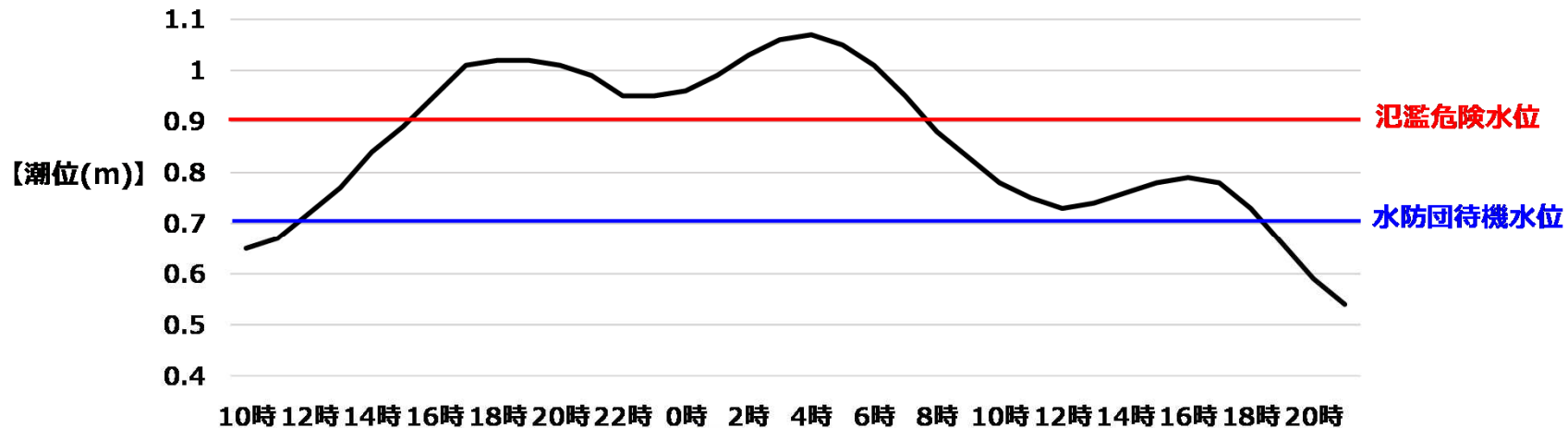
1 河川・海岸・ダム・砂防

(1) 加茂川(中海)における水防警報の状況

<台風9号通過の影響による水防警報発令の状況>

- 9月3日12時05分 中海湖心水位 70cm(水防団待機水位) →水防警報(待機)発令
- 13時40分 中海湖心水位 80cm →水防警報(準備)発令
- 15時30分 中海湖心水位 90cm(氾濫危険水位) →水防警報(出動)発令
- 17時頃 中海湖心水位 100cm到達 …以降高水位を継続(最高107cm)
- 9月4日 6時頃から徐々に水位が降下
- 18時30分 中海湖心水位 70cmまで降下
- 19時00分 中海湖心水位 67cm →水防警報 解除

9月5日13時現在 : 52 cm



<台風9号における境港市による排水ポンプの対応状況>

- ・中海・境水道側の浸水が想定される箇所に排水ポンプを設置・稼働。 →被害報告なし

<台風10号における米子県土・米子市・境港市の対応>

- ・台風10号の接近状況を注視しているところ。状況に応じて体制強化し必要な対応を行う予定。
- ・境港市は、引き続き排水ポンプを配備し、状況に応じて直ちに排水作業を開始できる体制をとっている。

公共土木施設の対応

(2) 県内河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- 排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。
- 樋門等の適切な操作についての再確認や、非常時における樋門操作等に係る関係機関との情報共有を徹底するよう指示するとともに、住民への避難に関する情報の発信・伝達等について点検や体制強化を図っている。
- 豪雨等により、過去に浸水発生又は排水ポンプ車が出動した箇所については、上記と併せ、河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制の確認を徹底するよう指示した。
- 高潮には注視し、河川及び湖沼の適切な樋門操作を徹底している。

(3) ダムの管理

- 治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保している。
- なお、治水協定に基づき、県内すべての治水ダム・利水ダム双方とも、予測降雨量が基準降雨量(事前放流を開始する基準)を超える場合は事前放流等を実施する。
- ダム放流の実施にあたっては、人命を確実に守るため、ホットラインの活用等により確実に関係市町村に伝達することの徹底及び、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認するようダム管理者へ指示済。
- 気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。
 - 2、3日前から …… 警戒体制配備の予想時刻等を市町村に連絡し、情報連絡体制の再確認をする。
 - 放流開始予告 …… 関係機関通知・サイレン警告、警報車によるアナウンス
 - ただし書き操作予告 …… 関係機関通知・サイレン警告、警報車によるアナウンス

ただし書き操作とは→ダムが満水となった時点から貯水位をこれ以上あげないように流入量をそのまま放流する操作のこと。

公共土木施設の対応

(4) 大呂地区地すべりの監視体制

- ・大呂地区地すべりについて、次のとおり監視体制を強化するとともに、土砂崩落により北股川が閉塞した時に備え、北股川に排水管の設置と県道の迂回路を整備済。また、護岸背後の遊砂地に土砂を誘導するための盛土を設置済。(現在は小康状態)
- ・4月中旬に斜面の一部が小崩壊を起こし、その土砂が斜面下部に堆積するとともに、一部は北股川へ流入した。
- ・この堆積土砂の再移動を防止するために、8月19日に「第3回大呂地すべり対策検討会」を開催し、専門家の指導をいただきつつ、災害関連緊急地すべり事業による対策施設の整備を進めることとしている。

区分	伸縮計 (大呂山)		職員体制	その他基準
	1時間当り	24時間当り		
監視体制Ⅰ基準	1.0mm 以上継続	10.0mm 以上	自宅待機(2名)	
監視体制Ⅱ基準	1.0mm 以上継続	10.0mm 以上	職場待機(1名) 自宅待機(1名)	雨量25mm/hr又は 80mm/24hr、河川へ泥流 が流出した場合
警戒体制基準	2.0mm 以上継続	10.0mm 以上	職場待機(1名) 自宅待機(1名) (職場待機(2名))	連続雨量200mm、河川へ 土砂堆積のおそれがある 場合 ※3
嚴重警戒体制基準	—	—	職場待機(3名)	河川へ土砂堆積 ※4

公共土木施設の対応

2 道路

(1) 鳥取西道路の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- ・昨年5月12日に開通した鳥取西道路(鳥取西IC～青谷IC)については、以下の何れかの条件で鳥取西IC～青谷IC間を一体的に事前通行止めすることとなっており、
 - ① 連続雨量100mm以上
 - ② 組合せ雨量 連続雨量90mmかつ時間雨量35mm
 - ③ 風速20m/秒以上 } 県内自専道で最も厳しい基準
- ・国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道9号)へ誘導する体制を整えている。

3 その他

(1) 大雨・強風時のパトロール体制等

- ・各所・局とも、大雨・強風時の状況変化(気象情報・県内での降雨状況等)に応じて管内の道路や河川等のパトロール体制や水防体制を整えている。
- ・また、工事現場の資材管理等については、請負業者に現場の安全対策を徹底している。

(2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- ・災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請している。

農林水産関係への対応

農業者、関係団体などへ台風期における各種対策等、注意喚起を実施

1 農業関係

○農作物等の管理について、各市町村、農協、農林局等へ対策を講じるよう再度連絡。

[連絡内容] ①農作物の管理について、②ビニールハウスの強風対策について

[現場の対応状況]

梨	・落果防止剤を事前に散布。 ・防風網の補強や、棚線の固定により、果実の揺れを防止。 ・熟期の梨は台風接近前に収穫。
ブドウ	・被覆中のブドウハウスを完全に密閉し、ハウスバンドにより固定。
白ネギ	・土寄せを行い株元を押さえ、倒伏を防止。
ブロッコリー	・定植は台風通過後に行い、強風による葉の損傷を回避。

2 農地・ため池関係

○各出先機関へ施工中の工事現場に「安全管理(看板等の固定、排水対策等)の徹底」を指示。

○高潮の可能性があることから、中海に面した樋門管理の徹底を依頼。

○防災重点ため池の連絡体制は各市町において整備済。(水位が下がっており、貯水容量は十分あり)

3 林業関係

○各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起など各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。

4 水産関係

○各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施。

○定置網の引き上げを実施。

公共交通機関への影響

公共交通機関への影響等(9月5日(土)14:00時点)

(1)公共交通機関の状況

<航空便>

【国内線】(ANA HP:日本時間2020年9月5日14時00分現在)

- 米子空港 通常どおり運航予定(運行に影響が発生する可能性があります)
- 鳥取空港 通常どおり運航予定(運行に影響が発生する可能性があります)

<鉄道、バス>

JR 9/6、7 サンライズ出雲(上下便) 運転取りやめ

その他の列車は6日は通常運行予定。

7日は計画運休を行う可能性あり。(6日午後1時に対策会議で判断)

バス 9/6 鳥取・広島線

9/7 鳥取・京都線、鳥取・広島線、倉吉・岡山線、米子・神戸線
米子・広島線、米子・京都線 の一部又は全便運休

9/8 鳥取・広島線の一部運休

(2)今後の状況を注視し、情報収集する。また、欠航や運休等の情報を入手した場合、速やかにとりネット等で県民や観光客に情報提供する。

学校・教育機関等の対応

1 学校・教育機関への注意喚起等

○台風の接近を踏まえ、文部科学省提供情報について、県立学校、市町村教育委員会等へ周知を実施した。

※児童生徒等の安全確保、施設設備の被害防止等について、遺漏がないよう関係機関に対し、注意喚起。

○今後も、最新の状況等を速やかに、関係機関へ情報提供する。

2 休校等の対応

(県立学校)

- ・多くの学校は7日(月)の朝、警報やJRの運行状況等を踏まえて判断
(※西部地区の高校、特別支援学校等は明日の昼過ぎの状況を踏まえて判断)

(市町村立学校)

- ・各市町村教育委員会において、警報や避難勧告等の状況を踏まえて判断
(※通常は当日の朝の状況で判断するが、今回は明日以降の状況で判断)
→境港市及び八頭町は既に臨時休業を決定(14校)